

## 西淀川区学校選択制にかかる学校説明会

- 1 ご挨拶 校長の吉田健太です。同じ西淀川区の姫島小学校校長から、この4月に淀中学校校長に着任しました。1人でも多くの子どもたち・保護者の皆様が淀中学校を中学校生活の学びの場を選択してくれることを願ってやみません。
- 2 校区地域 大小多数の工場が集まる地域で、さまざまな国籍の外国人が多数暮らす地域でもあります。大和田地区のイスラム教モスクは他の地域にはない特色かと思います。長く地域に暮らす方が多く地域の結びつきが強いと感じます。また地域で学校を支えようという気風が強いと感じられることが心強いです。
- 3 学校状況
  - 区内ではどの学校も似た傾向にあるとは思いますが、個別の生活指導が必要な案件は、少ないとは言えないです。
  - 学校として「組織的な生活指導」「子どもたちに寄り添う生活指導」「学校と保護者が同じ方向を向いて協力し、子どもたちを導く生活指導」を目指して進めているところです。
  - その結果、日々のさまざまな課題はあるものの、全体として、落ち着いて授業を受けたり学校行事に熱心に取り組んだりすることができる学校環境から大きく逸脱した状況（＝いわゆる「荒れ」た状況）**ではありません**。（ではありません---です。誤解のないように。）
  - 学力面では、数年前まではかなりきびしい状況にありました。大阪市の学力向上支援重点校の1つに指定されました。その手厚いサポートを受けながら日々の学力向上に継続して重点的に取り組んできた結果、現在は、各種調査において大阪市平均は下回るものの、着実・順調に学力向上傾向を維持しています。特に勉強が苦手な生徒に対する支援体制は、ほぼ毎日の放課後学習会、土曜学習会等、たいへん機会が充実しています。
  - 多数の日本語指導を必要とする外国人生徒が在籍しています。特別に日本語指導教員が配置され、それらの生徒たちへの学力保障・進路保障に向けた手厚いサポートをおこなっています。また、学校の中に市内4つの大阪市教育委員会直轄の共生教育拠点のうちの1つ「らんまん」がおかれていて、渡日まもない小中学生の初期指導を多数受け入れています。
  - 意図してのものではありませんが「共生」について日常的に自然と考えを深めることができる特別な環境にあると言えるので、その環境を生かし、他者を理解して思いやる心を育てることを強く意識して日々の教育活動を進めています。